



2018年10月18日

ビクターブランドより、“木”の振動板を採用したWOODシリーズの発売10周年を記念するフラッグシップモデルが登場

## インナーイヤーヘッドホン「HA-FW10000」を発売



～「すべては音のために」～ 厳選した天然素材採用による徹底した高音質設計

株式会社JVCケンウッドは、ビクターブランドより、“木”の振動板を採用したWOODシリーズの発売から10周年を記念するフラッグシップモデルとして、インナーイヤーヘッドホン「HA-FW10000」を11月上旬より発売します。

本機は、これまで培った独自のウッドテクノロジーをさらに進化させるとともに、ボディやケーブルにも厳選した天然素材を採用することで、徹底した高音質を実現するとともに、熟練した漆塗り職人による外観仕上げにもこだわりました。ビクターブランドの基本理念である“原音探究”の思想を追求したヘッドホンとして発売します。

品名	型名	希望小売価格（税抜き）	発売時期
インナーイヤーヘッドホン	HA-FW10000	オープン価格	11月上旬



### <企画意図>

当社のWOODシリーズは、2008年に業界初の“木”の振動板を採用したインナーイヤーヘッドホンの初号機「HP-FX500」を発売して以来、独自のウッドテクノロジーの進化を重ね、木が奏でる美しい響きを持つヘッドホンとして、高い評価を得てきました。

今回、初号機の発売から10周年を迎えたことを記念し、WOODシリーズのフラッグシップモデルとして「HA-FW10000」を発売します。「すべては音のために」をコンセプトとして、これまで培った音響技術と新たなこだわりの技術を惜しみなく投入し、徹底した高音質を追求。音質表現の核となるウッドドームドライバーユニットをさらに進化させるとともに、日本産の楓や漆、阿波和紙、絹といった、厳選した天然素材をボディやケーブルに採用し、これまでにない緻密な音質表現とあたたかく美しい響きを実現します。また、日本伝統工芸士が1つ1つ丁寧に手塗りで多層漆塗りを施した楓の無垢材削り出しボディと精緻なメタル素材の組み合わせにより、フラッグシップモデルにふさわしい上質なデザインに仕上げています。

当社は本機を、音にこだわるヘッドホンユーザーの皆さまに、ビクターブランドの基本理念である“原音探究”の思想を追求した新たなステージのヘッドホンとして提案します。

### <主な特長>

#### 1. 新開発ウッドドームドライバーユニットによる緻密な表現力を実現

##### 1)新開発ウッドドームカーボン振動板

音の伝搬速度が速く、振動の減衰特性に優れるカバ材から独自の薄膜加工技術により薄く削り出した50umウッドドームを、カーボンコーティングしたPET振動板に組み合わせることで、振動板外周部には適度なしなやかさを、振動板中央のドーム部分にはより高い強度を持たせ、美しい響きと緻密な表現力を実現します。

## 2)チタニウムドライバーケース

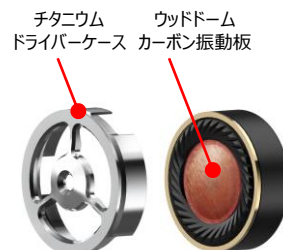
強度に優れるチタニウム素材のドライバーケースを採用し、音の雑味を排除します。

## 3)アキュレートモーションエアダンパー

独自設計のエアダンパーにより振動板の正確な動きを実現します。

## 4)忠実な再生を実現するハイエナジー磁気回路

駆動力とリニアリティを大幅に向上させたハイエナジー磁気回路により、原音に忠実な再生を実現します。また、軽量なCCA Wボイスコイルによる振動板の正確な振幅が、繊細なニュアンス表現を可能にします。



<ウッドドームドライバーユニット>

MMCX 端子収納ポッド



<音質追求構造>

## 2.ハウジングからMMCX端子を分離した音質追求構造

MMCX端子を独立したポッドに収納することで、ハウジングから分離する構造を採用。ハウジング内の音響設計の自由度を大きく確保することで、形状を0.1mm単位で調整することを可能とし、徹底した音質の追求を行いました。

## 3. 楓、漆、阿波和紙、絹など、厳選した天然素材を採用し、クリアで自然な響きを実現

ハウジングとウッドスタビライザーには、さまざまな木の素材の中から今回の商品開発で追い求めた響きの実現に最も適した日本産の楓を採用。楓本来の響きを引き出すために、無垢材から精密に削り出し加工を行い、さらに硬度の高い漆塗りを施すことで響きを調整し、クリアで自然な響きを実現しました。さらに、吸音材には天然素材の阿波和紙と絹を採用し、あたたかく美しい響きを再現します。

## 4. 日本伝統工芸士が手塗りで多層漆塗りを施した深みのある光沢仕上げ

「音を奏でる楽器」をモチーフに、ハウジングとスタビライザーには和楽器にも用いられる漆塗りを採用。日本伝統工芸士の漆塗り職人が一つ一つ丁寧に多層塗りを施し、深みのある光沢に仕上げました。木の美しさと精緻なメタル素材の組み合わせにより、フラッグシップモデルにふさわしい上質なデザインに仕上げられています。



## 5. 新開発ステンレスノズル&アコースティックピュリファイアー採用による高解像ピュアサウンド

高い強度を持つステンレスノズルにより、音の雑味を排除し、高解像度でピュアなサウンドを実現します。また、当社独自のスパイラルドットイヤープースの技術を応用し、ユニット前面に不要な音を拡散するドットを効果的に配置したアコースティックピュリファイアーを採用。分解能を改善し、自然な音の広がりを実現します。



<アコースティックピュリファイアー>

## 6. 新開発、絹採用のMMCX着脱L/R完全分離ハイグレードグルーヴケーブル&高品位極厚金メッキプラグ

新たな芯線構成により音の伸びと繊細な表現を可能にしたハイグレード仕様のケーブルに天然素材の絹を採用。余分な振動を抑制し、原音の持つピュアなディテールや雑味のない滑らかな響きを再現します。また、本体からプラグまでL/Rを完全にセパレートした構造とすることでセパレーションを改善し、空間表現力を向上させています。さらに、高品位極厚金メッキプラグを採用し、接触を安定させ、リッチな響きを実現します。

## 7. 装着感を高めたスパイラルドット<sup>+</sup> (プラス) イヤープースで純度の高いクリアサウンドを実現

イヤープース内壁に設けたスパイラル配列のドットにより、音質劣化の原因となるイヤープース内の反射音を拡散減衰させるスパイラルドットイヤープースの形状と素材を進化させ、さらに純度の高いクリアサウンドを実現したスパイラルドット<sup>+</sup> (プラス) イヤープースを採用。肌に近い力学特性を持つ素材SMP iFitを採用することで、イヤープースの存在を忘れるほどのナチュラルなフィット感を実現しました。5種類のサイズ (S、MS、M、ML、L) を付属しています。

## 8. タッチノイズの低減と装着感を向上し、安定した音質を実現する耳掛けスタイル

## 9. 安心と信頼の日本製

< 主な仕様 >

型名	「HA-FW10000」
型式	ダイナミック型
ドライバーユニット	口径11mm ウッドドームドライバーユニット
出力音圧レベル	102dB/1mW
再生周波数帯域	6Hz ~ 52,000Hz
インピーダンス	16Ω
最大許容入力	200mW (IEC*)
ケーブル	MMCX端子型着脱式1.2m(Y型) OFC線 φ3.5mm24金メッキステレオミニプラグ
質量(ケーブル含まず)	約21.5g
付属品	スパイラルドット <sup>+</sup> (プラス) イヤーピース (S、MS、M、ML、L各2個)、キャリングケース

\* IEC(国際電気標準会議)規格

<商標について>

- ・「アコースティックピュリファイア」「スパイラルドット」は当社の商標または登録商標です。
- ・「Hi-Res AUDIO」ロゴは、(社) 日本オーディオ協会の登録商標です。
- ・SMP iFitは株式会社SMPテクノロジーズの製品です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

**【Victor公式サイト HA-FW10000製品情報】**

<http://www.victor.jp/headphones/in-ear/ha-fw10000/>

**【WOODシリーズの歴史について】**

[http://www.victor.jp/headphones/wood\\_concept/](http://www.victor.jp/headphones/wood_concept/)

**【JVCケンウッド公式オンラインストア“コトSquare”限定商品のご案内】**

JVCケンウッド公式オンラインストア“コトSquare”では人気のイラストレーター・珈琲貴族さんとのコラボレーション商品を限定発売します。対象となるモデルは「HA-FW10000」と「HA-FW01」（2016年10月発売）の2モデル。発売時期や商品内容等、詳細は順次“コトSquare”内の特設ページにてご案内します。

**WOOD  
×  
珈琲貴族**

・サイトURL : [http://kotosquare.jvckenwood.com/shop/contents?contents\\_id=368770](http://kotosquare.jvckenwood.com/shop/contents?contents_id=368770)

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社 JVC ケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ

TEL : 045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地

【お客さま窓口】 JVC ケンウッド カスタマーサポートセンター

TEL : 0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル) /

0570-010-114 (携帯・PHS からはナビダイヤル) / 045-450-8950 (一部 IP 電話)

本資料の内容は報道発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

[www.jvckenwood.com](http://www.jvckenwood.com)